

ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」登録促進について Aグループ

①市が考える「現状」や「課題」について、不足している点や市民目線とずれている点がないか

現状：新婚夫婦の13.6%がSNSやアプリなどの「ネットで」知り合っている。マッチングシステムを活用することは、「効率的に相手が見つかる」と回答した人が5割近く

課題：行政の認識と若者の考えにズレ。若者への結婚支援の取組が弱い。
【行政】婚活イベントやマッチングアプリは自然な出会いでない。
【若者】マッチングシステムの活用は自然な出会い

利用したことがないので分からない

30歳代の登録が多いのは周りが結婚や出産をしてマッチングシステムの利用は

若者は効率的に考えるのだと思う

マッチングシステムの利用は真剣交際につながると思う

②対応策についてのアイデア出し

対応：広報おおのや、市公式LINEによる情報発信に加え、市内企業への登録促進周知、飲食店などへのイベントPRを行い、「ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」」が運営するマッチングシステムの普及啓発を図る。

企業にPR

インターネット、SNSでPR

数あるアプリから選んでもらえるよう、他に比べて良い点をPR

成婚者の体験談を活用

成人式でPR

飲食店、コンビニでPR

多くの場所で目にする仕掛けでよいのでは（押し付けはダメ）

気楽に集団で出会えるイベントが「ふく恋」の中にあるとよい

③アイデアの取りまとめ

ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」登録促進について

①市が考える「現状」や「課題」について、不足している点や市民目線とずれている点がないか

現状：新婚夫婦の13.6%がSNSやアプリなどの「ネットで」知り合っている。マッチングシステムを活用することは、「効率的に相手が見つかる」と回答した人が5割近く

課題：行政の認識と若者の考えにズレ。若者への結婚支援の取組が弱い。
【行政】婚活イベントやマッチングアプリは自然な出会いでない。
【若者】マッチングシステムの活用は自然な出会い

マッチングアプリとても
利用しやすい
たくさんのアプリがある

最初から結婚だと考えると
ハードルが高くなる
彼女をつくる感じで

市の職員に情報が伝わるの
ではないかと心配

②対応策についてのアイデア出し

対応：広報おおのや、市公式LINEによる情報発信に加え、市内企業への登録促進周知、飲食店などへのイベントPRを行い、「ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」」が運営するマッチングシステムの普及啓発を図る。

携帯電話ショップとかでPR

成人式でPR
実行委員会メンバーに協力
してもらいヒアリング

登録している人から声を掛けてもらう

道の駅、コンビニ、スキー場、エキサイトなど若者が利用するPR

若い人の意見を聞く

動画で分かりやすく説明

③アイデアの取りまとめ

①市が考える「現状」や「課題」について、不足している点や市民目線とずれている点がないか

現状：「出産、産後の生活のイメージが分からないまま、出産・産後・育児が始まり孤独と不安がある。

課題：出産後の乳児家庭全戸訪問は実施されているが、妊婦に対する働き掛け（支援）は行われていない。妊産婦の不安解消につながる取組が求められる。

②対応策についてのアイデア出し

対応：出産を控えた妊婦宅を訪問し、「家事援助や一時預かりサービス」の説明や、「地域子育て支援センター」利用の案内を行うとともに、妊娠・出産に対する相談支援を行う。

初対面の人に来るのは抵抗あり（事前に顔写真くらいは送るとよい）

訪問されるのは気が重い面倒だ

事前にアンケートを取るなど希望者のみの訪問でよいのでは

家庭訪問も相談会もいらない、本当に困った時に利用できればよい

危機管理の情報がありとよい

妊婦の負担にならないようにしてもらいたい

選択肢があるとよい訪問？書類？電話？オンライン？

支援センターで妊婦対象のイベントをしてもらいたい

詰め込み過ぎず、困った時のつながりを確保しておくことが重要

市のサービスをしっかりと伝えて、選択してもらえるように

③アイデアの取りまとめ

①市が考える「現状」や「課題」について、不足している点や市民目線とずれている点がないか

現状：「出産、産後の生活のイメージが分からないまま、出産・産後・育児が始まり孤独と不安がある。

課題：出産後の乳児家庭全戸訪問は実施されているが、妊婦に対する働き掛け（支援）は行われていない。妊産婦の不安解消につながる取組が求められる。

②対応策についてのアイデア出し

対応：出産を控えた妊婦宅を訪問し、「家事援助や一時預かりサービス」の説明や、「地域子育て支援センター」利用の案内を行うとともに、妊娠・出産に対する相談支援を行う。

初産の時の不安なことを相談する人がいない

病院で手厚い支援を受けているので、特に困った点はなかった

病院が近くにないのが一番不安だ。相談ができることは良い

病院で出会うママ友に大野の人がほほいない

県外から来た人にとって、特に人との交流が大切

県外から来られた方にとって、出産時の対応や上の子の転園などが不安だ

孤立させてはいけない
誰かとつながっている安心感を持ってもらえるとよい

仕事をしている妊婦が多いので、保育所で相談できるとよい

子育て支援センターの先生に来てもらえると、支援センター利用のつながりを持つので受け入れられやすい

オムツの割引などの経済的支援があるとよい

支援センターで妊婦対象のイベントをして、友達をつくってもらおうとよい

③アイデアの取りまとめ